

議会だより

第69号

令和3年4月30日発行

主な内容

- 予算審査特別委員会 …………… P2～4
- 第101回定例会の結果 …………… P5～9
- 一般質問（市政を問う） …………… P10～16
- 第100回臨時会の結果 …………… P17
- 委員会レポート …………… P18
- 市民ギャラリーほか …………… P20



市出身アーティスト 清川あさみさんが
伝統芸能をプロデュース(淡路人形座)
新演目「戎舞+(プラス)」

南あわじ市議会
ホームページ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

予算審査特別委員会

〔日程〕R3.3.15～3.18

- 委員長 小島 一
- 副委員長 原口 育大
- 委員 議長を除く 全議員



令和3年度一般会計予算

*歳入 294億2,000万円

- ・市税 53億8,086万円
- ・地方交付税 90億円
- ・市債 43億1,610万円 など

*歳出 294億2,000万円

- ・民生費 72億6,124万円
- ・教育費 34億4,248万円
- ・衛生費 33億8,001万円 など

令和3年度特別・企業会計予算

合計 176億4,086万円

- *国民健康保険 65億9,004万円
- *後期高齢者医療 7億3,900万円
- *介護保険 50億5,524万円
- *国民宿舎 2,229万円
- *下水道 51億1,905万円 など

一般会計審査報告

■主な質疑

▼低公害車導入事業

公用車の買い替え4台のうち低公害車を1台購入予定とのことだが、国の方針では脱炭素化に向かっており、行政は民間の模範となるべきであるので、財政的に簡単ではないだろうが、低公害車の導入を積極的に進められたい。



▼コミュニティ助成事業補助金、ふるさと創造支援事業補助金

それぞれ地域の意見をくみ上げ、地域活性化につなげる事業であるが、官民一体となった地域づくりを積極的に取り組まれたい。

▼若者応援ふるさと便事業

コロナ禍の中で親元などを離れて島外で暮らす若者を対象に、南あわじ市の特産品を送る事業とのことだが、対象となる若者が申請できるように、南あわじ市にいる保護者等にも十分に周知されたい。

▼高齢者等元気活躍推進事業

おもいやりポイント制度の登録者数の目標を3000人としている中、登録者数が伸びておらず、また、

登録者のうち登録団体の活動ができていない状況である。もっと参加してもらえようような情報発信の方法、活動しやすい方法を検討されたい。

▼老人福祉センターの「湯の川荘」

温泉を利用した高齢者福祉施設であるが、伊加利地区では、地域活性化のための核施設にしたいとの意向があるので、地元関係者と十分に協議しつつ、市としても、一歩踏み込んだ取り組みを検討されたい。



▲湯の川荘

▼風しん抗体検査・予防接種

40歳から57歳の男性を対象に令和元年度から3年度にかけて実施しているが、抗体検査が陰性でまだ予防接種を受けていない人が何名か残っている。対象者本人よりも胎児への影響が大きいと言われているので、今年が無料接種勧奨の最終年でもあり、十分に啓発をされたい。



▼町ぐるみ健診

令和2年度分の健診がコロナ禍の影響で終了したばかりであるが、令和3年度

は例年通り7月から9月にかけて実施することである。前回からの期間が短いので、検査項目の中でも検査すべきか判断に迷うこともあると思うので、しっかりと受診されるよう市としても十分に呼びかけてほしい。

▼合併処理浄化槽設置整備事業補助金

下水道処理区域の変更により、個別処理区域になった地域では、過去に設置した合併処理浄化槽に対しても遡及して補助金を交付することである。遡及するということは、既に設置がされていて補助金の交付だけを待っている方もいるので、早急に交付できるように推進されたい。

▼新規就農者に対する支援策

新規就農するためには最初に農業を体験することが

大切である。新規就農希望者が農業研修をする際の宿泊施設を確保するなど、受け入れ体制の充実を図り、南あわじ市の農業の新しい担い手を増やすことにつなげられたい。

▼淡路ファームパーク 特殊動植物等管理委託料

コアラの頭数が減ってきている。頭数を増やすことは簡単ではないが、この施設の最大の目玉であるコアラを絶やさないように努められたい。



▼水産業振興費の海釣り公園メガフロートの実施設設計委託料

存続が決まり、今後、地域に親しまれる公園として利用していくのであれば、老朽化対策だけではなく、駐車場までの進入路整備や安全確保など、将来的な施設の目的をしっかりと持った上で整備に取り組みされたい。



▲海釣り公園メガフロート

▼淡路島総合観光戦略推進事業負担金

観光の情報発信の強化、インバウンド等の誘客推進

▼老朽危険空家除却支援事業補助金

放置すれば倒壊、もしくは衛生上有害となる恐れがあるなどの空き家を除去する場合、所有者に対して補助をするものであるが、今後、市内ではこのような空き家が増えていくと考えられる。この補助金を有効に活用してもらうことで危険空き家が増えていかないよう、継続して事業に取り組まれたい。



▼消防車両・小型動力ポンプ購入

消防車両や小型動力ポンプ等を購入する場合、それぞれ上限が決められており、上限を超えた部分については、消防団の地元負担となる。通常の自治会費に加えての負担は、高齢化が進む状況下において厳しくなっているため、高価なものは不必要だとは思いますが、通常必要と考えられるものについては上限を見直すよう検討されたい。



▼コアカリキュラム開発事業

南あわじ市では、淡路人形浄瑠璃を義務教育9年間の学習の核として活用しているが、人形浄瑠璃は、各学年、各教科共通に活かされる歴史のある素晴らしい素材であるので、体験学習に止まらず、基礎学力向上につながるもっと具体的なカリキュラムにも取り組まされたい。



▼淡路人形座運営補助金

淡路人形座については、

コロナ禍で入場料収入が大きく落ち込んでおり、雇用調整助成金によって経営が維持できている状況である。今後も非常に厳しい経営が続くと考えられるが、運営補助金の額は前年度から変わっていない。淡路人形浄瑠璃を守るためには、人形座の安定した経営と座員の安定した雇用が必要であるので、市としても、いろいろな形で支援を図られたい。

▼体育協会補助金

体育協会では事務員を通常雇用している中、独自事業については以前より少なくなってきた。また、コロナ禍にあって、ランニングフェスティバルが中止になるなど不用額もでていく。補助金は、必要な経費に対して支出するものなので、運営実態を精査し、不用の場合は返還するよう取り扱われたい。



令和3年度一般会計予算

■討論

反対 吉田 良子 議員

■討論要旨

新型コロナウイルス感染症、経済対策に予算の増額が必要である。子育て支援での給付型奨学金制度の創設、医療費助成、経済的困難な家庭への支援策などの拡充、国民健康保険税の負担軽減策などが不十分である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

特別会計審査報告

下水道事業会計予算

下水道の加入促進について、以前は、加入促進のための部署を設置するなど組織的に努力していたが、現在は、早期接続奨励金と接続相談会などに止まっており、供用開始しても接続が進んでいない。下水道処理区域の変更を進めている中であっては、まずは加入促進をして、接続率を上げることを強力に進められたい。



▲賀集浄化センター

■議決結果

賛成多数で原案可決。(特別会計 11件)

議案の審査報告

令和2年度一般会計補正予算(第12号)

■議案内容

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億3330万3千円を減額。

■主な質疑

▼教育振興費における通信ネットワーク整備工事費900万円の追加

問 工事費の内容は。

答 今年度導入したiPad等で更新プログラムのダウンロードをするためには、校内LANが必要ということになり18校に整備工事をするもの。

問 当初から通信ネットワーク整備が必要なのは分からなかったのか。

答 いろんなソフトなどを更新するにあたりデータの容量がかなり大きくなり、LTE通信だとかなり時間

もかかり動きが遅くなるので、それを解消するためLAN整備を行うことになった。



▼単位老人クラブ運営補助金108万円の減額

問 減額になった理由は。

答 単位老人クラブが12クラブ減ったためである。

問 老人クラブが減ったことに対し、市としてはどのように考えているのか。

答 どうすれば今のクラブを維持できるのか、解散したところはなぜ解散に至ったのか、どういったことが課題なのかを老人クラブ連

合会から聞き取り、しっかりと対応していく必要があると考えている。



▼給食センター維持工事費4600万円の減額

問 減額になった理由は。

答 工事については夏休みを工期としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で夏休みが短縮され工事ができなかつたため減額した。

問 どのような工事だったのか。

答 厨房設備の入れ替え等の工事で何期かに分けてし

ており今回は5期目の工事であった。その工事については、来年度実施する予定である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲給食センター

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

■議案内容

▼ため池整備事業費2451万2千円の追加について



■議決結果

賛成多数で原案可決。

■主な質疑
問 事業の概要は。
答 一般のため池整備事業が4地区、耐震の対策として4池を整備する事業である。

問 ため池を使った地域おこし等は考えているのか。
答 ため池の活用と日本農業遺産の中でかんがいの部分も受賞の要因となったと考えており、文化づくりにも着目し事業を展開していきたい。

消防団条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

行政手続における押印の見直しを行い、消防団員に支給する手当のうち、危険を伴う出動手当について、1回の単価を2400円に引上げるため、改正を行うもの。

■主な質疑

問 団員報酬について、個人に渡すのか、消防団に渡すのか。
答 令和3年度から、団員報酬については個人の口座に入金する。

■議案内容

地域の状況により消防団員の定数を見直す必要があるのではないか。
答 地域によっては、定員確保が難しいと聞いているので、地域の防災力を維持することを優先して、地域でどれぐらいの団員が必要かを柔軟に考えていくべきである。

賛成多数で原案可決。



公の施設の指定管理者の指定(南あわじ市吹上浜野外教育センター)

■議案内容

野外活動を通じて健全な青少年を育成するため設置した、「南あわじ市吹上浜野外教育センター」の指定管理者に、吹上町自治会を指定するもの。

■主な質疑

問 オープンの期間が4月から11月であるが、期間を

延ばす考えはあるか。

答 最近のキャンブームの状況を見ると今後の検討課題だと考えている。

問 時期により利用の差がかなりあるが、人員配置はどうなっているのか。
答 5月と8月は利用が多く、そのような場合は自治会の方が掃除の手伝いに来たりしている。

問 発熱者等の対応は。
答 昨年のコロナ禍のなかでも、利用の人数制限、入り口での検温、消毒等実施した。患者が発生した時には、連絡体制もできている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲吹上浜野外教育センター

請願は不採択

日本政府に核兵器禁止条約へ参加し署名・批准を求める請願書

■請願内容 「唯一の戦争被爆国」である日本政府は、被爆者と国民の願いに応え、核兵器禁止条約に参加、署名、批准するよう、貴市議会として意見書を上げていただくよう請願するもの。
■請願者 原水爆禁止淡路地区協議会会長 高田良信、全日本年金者組合兵庫県本部南あわじ支部、兵庫県平和委員会、新日本婦人の会三原支部
■紹介議員 吉田良子議員、印部久信議員
■委員間討議 ●核兵器の廃絶に関しては、同意するが、国に対して意見書を出すのは、市議会の立場上、いかなものかと思う。国に対して批准を求める事には反対する。●平和と核兵器廃絶を心から願うことに関しては、その通り。国の外交や市町村の権限外のことに限っては、慎重な配慮が必要。意見書の提出については、慎重に判断していきたい。●民主主義的な権利を常に擁護し、人々の願いを実現していくことに全力を尽くすことが、議会人として一番求められていることである。核兵器廃絶が正しいことであれば、当然、国に対して意見を言うのが求められる行為である。●国の今後の動きに注目してからでも遅くはなく、国の動きに期待していくべきである。意見書の提出については、時期尚早である。●矛盾は正論で突破していかないと、という気がするので、意見書を出すのは賛成。

■討 論 賛成 蛭子智彦議員
【討 論 要 旨】 核兵器廃絶条約の批准を求める。核兵器廃絶は、日本国民および人類の悲願。市民の声にこたえ議会として憲法の平和条項、国際貢献条項にも照らし、政府に条約批准を求めるのは当然のことであり、請願を採択、意見書を提出すべきである。

■議決結果 賛成少数で、不採択。

令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

■議案内容

歳入歳出それぞれ、2億8千万円を減額。

■主な質疑

問 予算の減額の要因は。
答 一般被保険者の療養給付費が、前年比、2億5000万円の減額となった。そのうち、今年度の4月から6月に減少しており、コロナ禍の影響が非常に大きかった。

問 今回の減額のもう一つの要因として、緊急事態宣言下、「いきいき100歳体操」等様々な健康維持への取り組みをしてきた結果があらわれたのではないか。
答 ひとりひとりが、「いきいき100歳体操」等や感染防止対策に取り組んできた成果は非常に大きかった。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

阿那賀診療所が老朽化等により、丸山公民館の空き空間に移転・複合化するため所在地を変更するもの。

■主な質疑

問 4月1日から開業するが、薬局の移転が遅れると聞いている。どのような予定になっているのか。
答 薬局部分は、手続きに不備があり、移転が間に合わなかった。今後、薬局部分の手続きに必要な改修工事について、工期や金額を確認しつつ、変更契約にて対応する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

■議案内容

保険事業勘定の歳入歳出の総額を、それぞれ50億469万4千円、介護サービス事業勘定の歳入歳出の総額を、それぞれ5054万3千円とする。

■主な質疑

問 居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、施設介護サービス給付費が大きな減額となっているが。
答 通所系サービスがコロナ禍で大きく減少し、ショートステイを休止した施設が1施設あった。施設介護サービス給付費の減額については、介護医療院の当初開設を30床見込んでいたところ13床の実績であった点や介護老人保健施設の利用者が若干減っている点が必要な要因であった。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

令和2年度産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第2号)

■議案内容

歳入歳出予算の総額を、それぞれ9607万1千円と定める。

■主な質疑

問 あと2年ぐらいで受け入れ容量が満杯になる。市のほうでは、類似施設等の建設を検討しているのか。
答 産業振興を考えたうえで、は市内にあれば有利な施設であると考えているが、現在、協議検討している途中である。

問 アスファルトがら等は、島内に処分場があるが、互の処分について対策を考えているのか。
答 受け入れ種別を限定し、受け入れ量を調整して満杯になる期間を延ばすことも併せて検討している。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

財産の取得

■議案内容

大鳴門橋周辺環境整備事業に係る土地を5656万円取得。

■主な質疑

問 土地の取得目的は。
答 駐車場の再整備と周辺施設を巡回するバス停の整備、観光客向けの飲食や土産物店、展望エリア等の整備を検討している。

問 土地の取得額についてどのように決めたのか。
答 市と兵庫県道路公社との協議により決定したが、県道路公社が依頼した鑑定士の評価をもとに積算している。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲福良門崎笹山駐車場予定地

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 議決結果. Lists various budget and administrative proposals approved by all council members.

Table with 3 columns: 提出者, 議案名, 議決結果. Lists various proposals regarding education, public facilities, and administrative matters.

■賛否の分かれた議案

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席)

Table with 16 columns for council members and 3 columns for proposal details. Shows the voting results for proposals that were not unanimously approved.

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

地方税法の一部改正による、ひとり親控除の創設及び寡婦(夫)控除の見直しにより、子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正するもの。

■主な質疑

改正により保育料の算定基礎となる所得税の控除額はいくらになるのか。

ひとり親に対し一律30万円の控除額になる。

改正により、保育料の増減に影響はあるのか。

子ども子育て支援制度の創設により、今回の改正を待たずして、既に同様の対応をしているので、保育料への影響は無い。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

丸山海釣り公園、生産物直売所、丸山漁業活性化センターの各施設の指定管理者に南あわじ漁業協同組合を指定。

■主な質疑

海釣り公園の釣り台は以前の台風で破損したが、現在はどうなっているか。

被災した部分は財産処分し、残った部分のみで運営している。

釣り台の減少に伴う代替施設等の整備は考えているのか。

時代の変化に伴う経営の見直し等も含め今後検討していく必要がある。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

陸の港西淡条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

陸の港西淡におけるレンタサイクルについて、4日目で降利用の使用料について定める。

■主な質疑

今回の改正の目的は。

レンタサイクルの使用料について、分かりやすい料金体系にかえて需要を掘り起こしていくのが狙いである。

福良やイングランドの丘など利用できる場所を増やすなどともっと利用者を増やす方策を検討すべきでないか。

費用面等の課題もあるが、鳴門市や観光協会、民間等とどのような協力が出て、どのように需要を取り込んでいくか、引き続き検討していきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

令和2年度 議会交際費支出報告 (予算70万円)

議会交際費とは、議長等が対外的な交際を行うための経費です。支出基準に基づき、支出しています。

Table showing the breakdown of council social expenses by category (e.g., 祝金, 香料, 供花) and amount.

人事案件

[敬称略]

- List of personnel matters including appointments and resignations of council members and staff, such as 副市長の任命, 教育長の任命, etc.

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市政を問う ～より良い南あわじへ～

議員名	質問内容	ページ	議員名	質問内容	ページ
登里 伸一 (代表質問)	● 施政方針並びに新年度予算と新規事業	10	吉田 良子	● コロナ対策 ● 政治姿勢	13
印部 久信 (代表質問)	● 施政方針	11	原口 育大	● 農業の担い手への支援策	14
久米 啓右 (代表質問)	● 施政方針	11	土井 巧	● 教育の充実 ● 地域の資源を生かした地元産業の活性化 ● 新型コロナウイルスワクチン接種	14
蛭子 智彦 (代表質問)	● 施政方針全般 ● 補助金の適切な給付 ● ジェンダー平等の取り組み ● コロナワクチン接種 ● 奨学金制度	12	熊田 司	● 施政方針	15
谷口 博文 (代表質問)	● 施政方針	12	中村三千雄	● 施政方針	15
太田 康文	● 2025年リニューアル。道の駅うずしお周辺施設の今後 ● 淡路島新時代、ニーズに合った移住定住支援	13	北条志津子	● 安全・安心なまちづくり ● 道路整備と環境整備 ● 安心して暮らせる健康・福祉	16

会派代表質問
市民連合クラブ
印部 久信 議員

施政方針について

問 令和3年度一般会計が合併後最高の294億2000万円。理由は。

答 下水放流施設火葬場建設事業、ふるさと応援寄付金に対する返礼品に係る委託料、小学校大規模改修、コロナワクチン接種事業等。

問 実質公債比率は。令和元年度14.1%。

答 将来負担費比率は。104.9%。

問 経常収支比率は。93.2%で令和2年度94.7%。3年度95.4%。徐々に悪化の見込み。

問 コロナワクチン接種について。

答 2月17日より医療従事者先行接種。4月26日より本格接種。基礎疾患を有する方、高齢者、施設の方の従事者、一般の方という順。

問 令和元年度火葬場建設費6億1000万円計上されているが今年度で何回目なのか。理由は。

答 5回目の計上になる。火葬場建設予定地の隣にはし尿処理施設があり解体撤去するには新たな下水放流施設が必要。今回建設が進み始めた新火葬場の建設に向け協議を進めたい。

問 この思いで計上した。高齢者等元気活躍推進事業登録者数は。

答 254人。

問 ボランティアポイント受け入れ事業者数は。どのような業種か。

答 41施設で高齢者施設、学校、児童保育所。

問 コロナ禍にて経済が疲弊している。経済活性化について。

答 昨年は経済活性化にジモ得、プレミアム商品券、キャッシュレス決済等で活性化を図った。今後市民の消費喚起と事業者の経済を回すことも併せた対応で継続した事業を展開する。

会派代表質問
ゆづるはクラブ
登里 伸一 議員

施政方針について

問 地域包括ケアシステムの現状と課題は。

答 高齢・障害・生活困窮者等であっても、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援などの公的支援、事業者の各種サポートを切れ目なく提供し、地域の助け合いなど、安心して暮らせる社会を作ることだと考えている。私の掲げる5つの行動の目指すところだ。縦割りの連携と、情報や支援が必要な人たちに届けられる課題がある。

問 人口減少問題と少子化対策は。

答 次世代の育成を応援し、若者に選ば

問 高齢者の活躍の場を増やして健康寿命を延ばし、現役世代の負担を軽減。保育の無償化に続き、学ばせし日本一を目標に、子育てのトップランナーとなって若い人を引きつける。農林・畜産水産業・観光・歴史資源を伸ばし、防災や防犯に住民の意識が高く、安心して住めるまちづくりを努め、人を引きつける施策を展開している。

問 職員の人材育成は。

答 仕事は達成する目標に向かい、人の心を動かし、賛同し、行動してくれる人を増やしていくことです。その根本にあるのは、自分に対する信頼です。信頼を獲得するためには、仕事に向かう姿勢、正確な情報分析や専門知識、心に響く言葉の3つを磨き積み重ねていくことで成長できると思っています。

問 その他、8件の質問をした。

その他、8件の質問をした。

会派代表質問
創世クラブ
久米 啓右 議員

市長は2期目に向けて市民との「コミュニケーションをどう図るのか？」

「対話と行動」の目指すところ

市役所、職員全体が市民との対話に努めて、意思疎通を面的に広げていくために人材育成に取り組みたい。

「分野別対話」を設ける

新しい試みとして消防団、老人クラブ、PTA、保護者会、あるいは障害者団体、スポーツ関係者、文化関係といったような形で分野別の課題や、共通課題について議論の場を設けるのも有益と想っており、スケジュール調整し取組んでいきたい。

「市長個人」として

私の心がけとしては、就任以来時間が空いていけば会合なりイベントに出かけ、あるいは飲食店、温泉施設に行つてそこでお話をし様子伺いには心がけてきた。今後も、気軽に話ができる市長を目指すとこの気持ちには変わりはない。住民の方にも気軽に声をかけていただければ幸いです。

▲対話活動

会派代表質問

日本共産党南あわじ市議員
蛭子 智彦 議員



施政方針全般について

問 施政方針全般を
読んだが、高齢者元
気活躍推進等の事業
以外、あまり熱を持っ
ているように見受け
られない。辛口の
評価が少なく、裸の
王様になっていない
か。

答 結構うまくかけ
たと思っている。エ
ネルギーは以前より
も増している。住民
の方からのお褒めの
言葉を糧にしている。

補助金の適正化

問 ある地区で平成
23年度の補助金事業
で不適切な支出があっ
たと思われる。実態
を調べて適切な処置
を求める。

答 住民から署名捺
印の質問状も届いて
いる。事実関係の調
査を行いたい。

ジェンダー平等の 取り組み

問 性的なマイノリ
ティの問題もあるが、
特に女性の地位向上
について、もっと積
極的に取り組むべき
でないか。

答 女性の管理職登
用などもまだまだ低
い。十分配慮を払い
ながら、検討を重ね
適材適所に配置して
いくことになるだろ
うと思っている。

コロナワクチン 接種について

問 ワクチン接種に
ついて、国は十分な



対応をしていないが、
南あわじ市で迅速な
接種体制を整えてお
くべきと考える。

答 十分な体制づく
りを進めたい。

奨学金制度について

問 奨学金制度につ
いて、冷たい対応を
やめて実施すべきだ。
答 全く考えてない
というわけではない。
アンケートをとって
考えていきたい。

会派代表質問

誠道クラブ
谷口 博文 議員



南海トラフ巨大地震に対する備えと 常備消防の配置について

問 市民の命を守る
ためのハザードマッ
プをただ単に配布す
るだけでなく、マッ
プ内の危険な地域に
赴き、住民説明会を
実施すべきでは。

答 2022の集落を
全部回るの難しい
ですが、福良、阿万、
沼島あるいは低地帯
や海岸沿いの地域に
対し説明を行ってい
ま

ます。
答 常に広域消防と
は連携をとっており
ますので要望をして
いきたいと思ってお
ります。第二次消防
整備基本計画の中で、
令和10年度に、現在
28名の南淡分署を31
名に、11名の西淡出
張所を19名に、それ
から南淡分署の施設
改善に令和6年度設
計、令和7年度5億
円上げて実施予定と
なっております。

飲食・観光事業に ついて

問 キャッシュレス
決済の1億2000
万円と、この市内消費
喚起の1億2000
万円、事業内容につ
いて教えてください。

答 キャッシュレス
決済については、今
度第2弾をどのよう
にするか検討中であ
り、商品券につきま
しても、10ある商店
街を南あわじ市連合
商店街として、来年
度の夏頃に実施でき
ればと計画中です。



▲ハザードマップ

ゆづるはクラブ

太田 康文 議員



2025年までに大改修！ 道の駅うずしお周辺施設の今後は

答 道の駅うずしお
は、現地建替え。機
能的には現状を基本
とし、大鳴門橋自転
車道対応機能と展望
施設の追加、鳴門の
渦潮を間近に体験で
きる施設として整備
大鳴門橋記念館は、
本年度駐車場拡張工
事を実施、65台増や
して146台確保。
笹山駐車場は、駐車
場・展望施設及び待
合施設の整備を予定。
3施設で概算事業費
が約20億円。エリア
全体で、今後新たに
チャレンジショップ
やキッチンカー等が
できる広場や、展望
施設を各所に整備し
たい。大鳴門橋自転

車道の概算事業費は
約50億円。延長約1.
6キロ、幅員は自転
車道と歩道で4m。
令和3年度は、細部
構造設計を行う。
問 この施設の指定
管理者の選定方法は、
答 現在10年間の指
定管理を非公募で選
定している。

問 施設の公共
性に注目が集ま
る中、今後も非
公募で選定して
いくのか。
答 次の管理者
をどうするかと
いうことは内部
で十分検討した
い。

問 市長はこれ
についてどのよ



▲2025年までに4施設がリニューアル。総概算事業費70億円！

うに考えているのか。
答 この施設は南あ
わじ市の観光の中核
になるもの。公共性
が高いことも事実、
そういう性格が反映
される形はどういう
ものか、十分に検討
したい。

その他、南あわじ
市の移住定住の現状・
市独自の新規就農支
援等を要望。

日本共産党南あわじ市議員
吉田 良子 議員



コロナ感染症、 経済支援対策を求める

問 コロナワクチン
接種を旧町の4地区
公民館で集団接種の
予定だが、高齢者等
送迎の案内を行い希
望の方の送迎はどう
か。

答 交通手段は協議
したい。
問 保育所、学童保
育指導員、訪問介護
職員等に社会的検査
としてPCR検査を
県に要望してはどう
か。

答 要望はしてい
きたい。
問 新年度の商品券
とキャッシュレス決
済予算の増額は。
答 商工会、商店街
と協力しながら考え
ていく。

市民のくらし応援 の施策を

問 市民の経済状況
が厳しい、国民健康
保険税の引き上げで
なく税率の据置はど
うか。

答 税率を変えなけ
ればと思う。
問 らん・らんバス
の学生定期券が通常
の約6割の料金で新
設された。高速バス
を利用した場合2割、
3割と補助がある。

答 考えていないが、
関係機関等協議、研
究をしていきたい。
問 水道料金福祉減



▲新型コロナウイルスワクチン接種案内

免は、高齢者の所得
制限が厳しい、イオ
光の加入の是非で減
免料金が違う改善は
どうか。
答 イオ光の民間化
等でこういう形。
問 若い女性が求め
ている働き方は。
答 働く人にやさし
い、柔軟な働き方を
経営者と一緒に考え
ていく努力をし、若
い女性に選ばれる町
にしていきたい。
選択制夫婦別姓に
ついて質問した。

一般質問

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



農業担い手への支援策の充実を

問 インターンシップとか農の雇用を受け入れる親方農家数は...

答 令和2年度の状況だが、インターンシップ8人、農の雇用12人。

問 受け入れ実績は。答 インターンシップ19件、農の雇用15件。

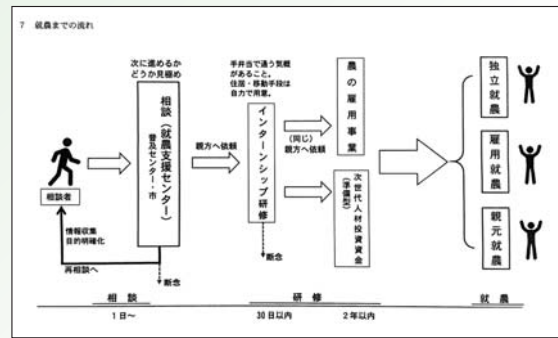
問 研修先を複数可能にできないか、また宿泊施設が市内にあると良いのだが。

答 複数の研修先をという話では、受入れ農家の量を増やすとともに、柔軟な対応もできるように充実させていきたい。

農水省の農産漁村振興交付金事業を使えば、古民家や廃校舎

者や外から来る人に対する特色ある飛び抜けた施策を打ち出してほしい。

答 ただ人口を増やすというのが目的ではなく、まさに担い手を増やすことが目的であり、どのような形の移住が市にとってメリットがあるのかもしっかりと練って行きたい。



▲就農までの流れ

市民連合クラブ 土井 巧 議員



施政方針 教育の充実について

問 本市児童生徒の状況は。答 長所は非常にまじめで粘り強くできる。自己肯定感が低いので、「学ぶ楽しさ日本一」では一番の課題ととらえている。

問 市としてどのような子どもの育成を目指すのか。答 子どもたちが主体的に学んでいく姿勢を生み出すために、自己肯定感を高めることを第一に考えている。

問 読解力の向上の取り組みは。答 全体的な傾向で、小学校国語で読解力に課題があり、本市でも同様である。市立図書館に読書活動

れなかった。全国的に視力低下が進んでいることはICT環境が進む現代において大きな課題である。

その他、日本農業遺産認定「水稲、たまねぎ、畜産の生産循環システム」について質問した。新型コロナウイルス接種計画についても質問した。



▲日本農業遺産認定

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



不妊治療・子育て環境の充実を

問 県の2021年度予算で、不妊治療に向けた検査を夫婦一緒に受ければ、費用を一部補助する制度を導入しようとしている。制度の内容と市の考えを聞きたい。

答 検査を夫婦一緒に受ければ、費用の7割を県と市町で負担し、3割を夫婦に負担していただく制度。一般に不妊治療、特に検査に消極的と言われている男性の参加を促すところもある。より効果的な不妊治療を行うことができると考えられるので、実施時期も含めて、前向きに検討したい。

なっているか。入所申し込みの際、障がい名と特性、手帳の有無を確認させていただいている。加配保育士が必要な場合には、保育士を加配して受け入れをしている。

問 当市の保育園や子ども園では、医療的ケア児は通えないのか。答 設置者が努力することになっている。安全上の観点から、他の健常児と生活と共にする園での生活に種々、制限を要する場合には、制限内容や事前具体的な内容をお示しをして、保護者の方にもご協力をいただく、十分話し合っておくことが重要と考えている。その結果に基づいて、受け入れに向けて体制づくりをしていくこととしている。

問 発達障がいや身体的障がいがある子どもの場合は、どう



▲子育て光る南あわじ市へ

ゆづるはクラブ 中村三千雄 議員



施政方針について

問 離島対策の主眼は。答 自立的発展の促進、島民の生活の安全と、福祉の向上であり、その為に地域再生協働員を配置して、島民と共に今後

も取り組んで行きたい。問 水仙郷の再整備計画の基本的な考えは。答 淡路島の冬場の観光の施設であると認識している。西浦地域に負けない観光地に仕上げたい。

問 水仙郷の園地整備を住民組織と一体となり共有しながら、地域活性化のため進めたいと要望する。

構造の見直し等検討したい。

問 職員の意識改革についての考えは。答 市長が掲げている最強の市役所実現のため、自ら学び共に成長し合うこと。その為、意欲と能力の向上、組織力の強化を含めて人材育成に係る体制を新年度に進めて行く。

問 農林水産業の現状と振興策、定住促進対策について。答 本市でも高齢化とともに農業従事者の減少、耕作面積も減ってきている。まず、売上を上げることで、コストを下げる。この度「日本農業遺産」に認定された。



▲沼島（全景）

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



安全・安心なまちづくりを速やかに

住宅支援「わが家の耐震改修促進事業」実績状況は。補助事業8種類。平成17年度から簡易耐震診断240件。耐震改修計画策定54件。住宅建替補助、防災ベッド設置など。県推奨「わが家の耐震改修促進事業」に費用負担が軽減される代理受領制度導入を。準備を整え実施。普及と啓発の強化をする。なでしこ分団とは。新たに4名が入部し20名の女性消防分団。意見交換会や定例会、保育所等で啓発活動を行っている。防災士との連携を。重要と思っている。女性視点の助け合い地域づくりに支援を。組織の整理が必要。意見聴取したい。定時サイレン放送を。定刻17時に。灘で12時、7時に点検を兼ね放送。慎重な検討が必要。道路整備と環境整備を。通学路の安全対策は。毎年、教育委員会と通学路の推進会議を開き、7月頃に各小学校で点検し自治会要望も考慮し優先順位で実施。八木小学校入りの静御前モニユメント修繕は。工事完了し設置済み。安心して暮らせる福祉の充実を。万歩計等やスマホを利用した「健康マイレージ事業」を。多方面から検討する。交通手段のない方への高齢者支援は。どういった形が一番市民に対して望ましいか検討したい。



化粧直しされた美しくなった静御前

一部事務組合などの議会報告

令和3年1月～3月

南あわじ市・洲本市 小中学校組合

第1回定例会 (2月17日)

議長に土井巧議員を選出、一般会計補正予算(第4号)と令和3年度予算(総額1億6729万2千円)、学校施設の開放に関する条例の一部改正案を審議し可決した。原口育大議員と間森和生議員が一般質問をした。

淡路広域消防事務 組合

第1回定例会 (2月19日)

令和3年度一般会計予算20億3330万円、消防自動車2台を91万9千円で購入などを可決。吉田良子議員が、南淡分署、西淡出張所の早急な整備について一般質問をした。

淡路広域水道企業団

第1回定例会 (2月19日)

令和3年度一般会計予算などを可決。吉田良子議員が、今後の水道料金とコロナ対策としての水道料金減免について一般質問をした。

淡路広域行政事務 組合

第1回定例会 (2月19日)

令和3年度一般会計予算3億2115万円などを可決。吉田良子議員が、ごみ処理の広域化について一般質問をした。

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合

第1回定例会 (3月29日)

令和3年度一般会計予算4億478万円を可決。監査委員を選出。

議案審査でこんな議論をしました

第100回臨時会 2月15日～2月19日

令和2年度一般会計補正予算(11号)

議案内容

歳入歳出にそれぞれ6億1745万円を追加。

主な質疑

歳入

ふるさと南あわじ応援寄附金4億円の追加

寄附金が増えた要因は。まず1点目は、返礼品の出品事業者が前年度より増え、出品数についても、全ポータルサイトでの掲載数を増やしたこと、新規の返礼品に対する寄附額が約3億4000万円程度あったこと。2点目は、PR手法の改善とポータルサイト数を増やしたこと。



ふるさと納税返礼品

議案内容

3点目は、新型コロナウイルス感染症で外出自粛があったことで、全国的にインターネット通販の利用が増えたとみられ、その流れでふるさと納税にも影響したのではないかと考えている。

議決結果

賛成多数で原案可決。

下水放流施設建設工事請負契約の締結について

議案内容

し尿処理施設での処理対象がし尿から浄化槽汚泥へ変化しており、主となる浄化槽汚泥にも十分対応できないよう処理効率の向上を図り、下水放流施設建設工事を実施する。

設備主体の工事ということで地元業者が入札に参加できなかったが、設備と建築の工事割合は。

6割から7割がプラント設備となっている。

施設の臭気対策は。

建屋内は、負圧により、臭気が外に漏れない構造になっている。し尿汚泥をバキュームカーから受入れ槽に投入する際も施設内で作業を行い、臭気は外へ漏れださない。また、施設外は、1日当たり20台程度のバキュームカーの受け入れを

み処理の広域化について一般質問をした。

第2回臨時議会 (3月29日)

職員の給与の特例に関する条例の一部改正を可決。議長、監査委員選出。

淡路広域消防事務 組合

第1回定例会 (2月19日)

令和3年度一般会計予算20億3330万円、消防自動車2台を91万9千円で購入などを可決。吉田良子議員が、南淡分署、西淡出張所の早急な整備について一般質問をした。

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合

第1回定例会 (3月29日)

令和3年度一般会計予算4億478万円を可決。監査委員を選出。

想定しているが、受け入れ可能時間の指定等を行うなどの対策を取っていくことを考えている。下水放流施設の稼働はいつの予定か。令和4年7月の開始を予定している。メンテナンスの発注については地元業者で出来るものについては地元業者を優先してほしい。その方向で考えていきたい。し尿の希釈水が必要なため、地元のポーリング水を使うというのだが、使料は決定しているのか。一日当たり約95トンの水が必要となり、地元の水を使うことになっているが単価については協議中である。

議決結果

賛成多数で原案可決。

Table with columns for proposal name, decision result, and council member votes (賛成, 反対, 欠席).

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席)

第103回 南あわじ市議会定例会日程(6月)

◆開会はずべて午前10時～

会議日	会議内容(予定)
第1日 6月3日(休)	1. 条例案上程 (説明、質疑、委員会付託) 2. 令和3年度一般会計補正予算案上程 (説明、質疑、委員会付託) 3. その他の案件上程 (説明、質疑、委員会付託)
第2日 6月14日(月)	1. 一般質問
第3日 6月15日(火)	1. 一般質問
第4日 6月16日(水)	1. 一般質問 2. 追加議案上程 (説明、質疑、委員会付託)
予備日 6月17日(木)	
第5日 6月23日(水)	1. 付託案件委員会審査報告 (質疑、討論、表決) 2. 追加議案上程 (説明、質疑、討論、表決)
委員会	6月18日(金) 総務文教常任委員会(付託案件の審査)
	6月21日(月) 産業厚生常任委員会(付託案件の審査)

5月の委員会日程

委員会	日時・場所	内容
議会運営委員会	5月27日(木) 午前10時 委員会室	第103回 市議会定例会 について
総務文教 常任委員会	5月13日(木) 午前10時 委員会室	所管事務調査
産業厚生 常任委員会	5月14日(金) 午前10時 委員会室	所管事務調査
議会広報広聴 常任委員会	5月7日(金) 午前10時 委員会室	議会報告会 について

議会事務局職員の紹介



局長 稲本 幸児
 副局長 加野 泰生
 課長 奥野 大輔
 係長 佐藤 秀明
 " 松本 潤子
 " 福岡 侑子
 主査

総務文教常任委員会

～1月27日・2月15日～

▼アフタースクール
 現在、八木小学校で実施しているが、その内容と参加人数は。

答 事業内容については、講師を招いてのダンスプログラム、スタッフが資格を生かしたスタッフプログラム、企業協賛プログラム等を実施。参加人数は、児童保育も含めて、現在、47名。

問 来年度のアフタースクール事業は、どの小学校で実施するのか。

答 八木小学校、広田小学校、湊小学校を予定している。



点検している。また、保護者から子供への感染が注目されているので、家庭への啓発も強めている。更に国からチェックリストが出ており、かなり細部にわたってチェックを並行して行っている。

▼緊急事態宣言の影響
 学校における緊急事態宣言の影響は。

答 現在は、安定した状態で学校運営ができています。ただし、学校では再度、衛生管理マニュアルで全ての項目について不備はないか

問 市役所では在宅勤務をしているのか。

答 職員の在宅勤務の状況は、テレワークの条件が先日整ったところ。現在、既に40人から50人程度が、テレワークの申込みをしている。併せて、中央公民館にサテライトオフィスを構築しており、10人程度収容できる場所を確保している。テレワーク移住に対する

▼テレワーク

問 コロナ禍の中で、生活が困難になっている方の相談、生活保護の申請などの状況は。

答 生活保護世帯については、12月末現在世帯で260、人員で330人。去年の同時期と比べて、世帯数で7世帯、人員で7名の増加となっている。生活困窮の相談については、4月から1月までで56件。昨年同時期は46件で、これも若干

産業厚生常任委員会

～1月26日・2月16日～



る環境整備はどうか。
 答 事業者からも、環境整備を独自でしたい等の問い合わせがあり、ワークイングスペース推進事業支援金を活用しながら進めていきたい。

▼町ぐるみ健診

問 コロナの緊急事態宣言の中で、今も実施の方向で考えているのか。

答 町ぐるみ健診については、1月29日から西淡会場を開始する。感染予防対策を徹底した上で実施する方向で進めている。

問 感染予防対策はどのようになっているのか。

答 3密を回避するために、30分ごとの予約人数を70人から50人に減らし、一度に人数が重ならないように、できるだけ間隔を空けて受けていただけるとしてしている。会場でもソーシャル

▼確定申告

問 確定申告については、どのような新型コロナ感染症拡大防止対策をとっているのか。

答 感染拡大防止対策については、入場制限をし、会場待っていたら多くの方を通常より減らしている。それ以外の方には、基本的に車で待ってもらい、順番がきたら携帯で呼出しさせていただく形をとっている。受付には、アクリル板を設置し対応している。



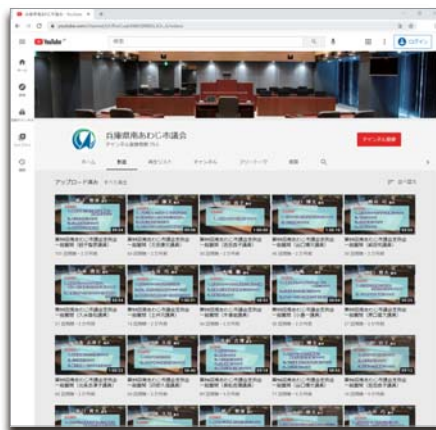
ディスプレイをとっていただくという事で、いろんな啓発をしながら実施していく。

議会報告会のYouTubeライブ配信をご覧ください

今年の議会報告会は、新型コロナウイルス感染防止対策をしたうえで、各種団体との意見交換会を議場で行います。当日は、YouTubeでライブ配信します。

5月18日(火) 14:00～16:30

テーマ 「コロナ禍での南あわじ市民への影響について」



インターネットで、YouTube → 南あわじ市議会 と検索していただくことができます。

注:変更、中止になる場合は、市のホームページでご案内させていただきます。

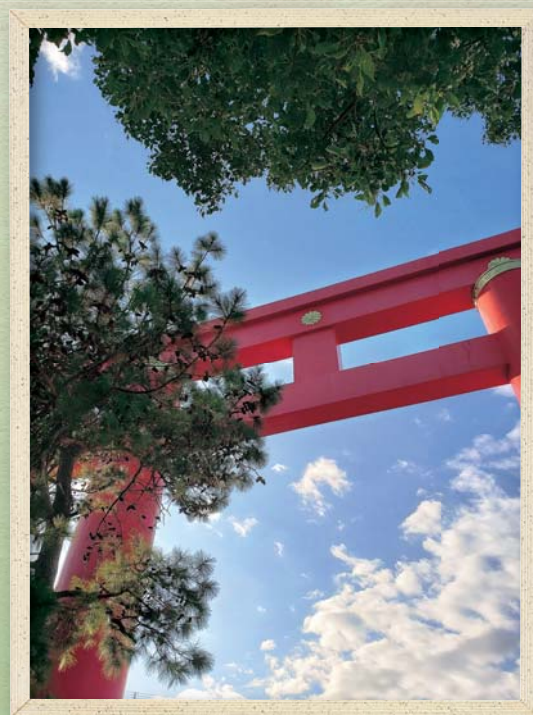
※ライブ配信は無料で視聴できますが、動画再生や視聴には大量のデータ(パケット)通信を行うため、携帯・通信キャリア各社にて通信料が別途発生します。
 ※スマートフォンやタブレットでご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。





タイトル
新造船咸臨丸
(吉田 雅信さん 提供)

この春新しくなった、うずしお観潮船 咸臨丸
市民限定試乗会で停泊中をパチリ！
(撮影 福良港)



タイトル
祈りは空へ
(山田 恵子さん 提供)

短歌
創生の神は翼をお持ちかと大鳥居にとまる青い鳥仰ぐ
(撮影 おのころ島神社)

引き続き 写真募集!!

風景・イベント等の写真を
お待ちしております



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取り組み
として、皆様から投稿していただく写真(風景、イベント
等)・コメントを掲載するコーナーを設けます。

▶▶▶ 応募条件 ▶▶▶ 応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

▶▶▶ 応募方法 ▶▶▶ 住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を、明記の上、右記の方法でお送りください。

▶▶▶ 注意事項 ▶▶▶ ●掲載については、議会広報広聴常任委員会が審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。●ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。●肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。●掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

- Eメールの場合 gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
- 郵送の場合 〒656-0492 南あわじ市市善光寺 22 番地 1
南あわじ市議会事務局 宛

お知らせ 市民インタビューですが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止させていただいています。

議会広報広聴常任委員会
北条志津子 久米 啓右
太田 康文 谷口 博文
吉田 良子 原口 育大

編集後記
今回も議会だよりをお読みいただきありがとうございます。本号では3月議会で行われた予算審査や一般質問を始め2月臨時会や一部事務組合の内容等を掲載しております。限られたページ数であり文字数が多くなってしまう点、ご容赦いただきたく存じます。議会広報編集後記において初めて新型コロナウイルスに関する記事を掲載したのがちょうど1年前でした。あれから1年、未だ収まりをみせない状況であります。議会広報委員会としても市内各種団体との意見交換を行うなど市民の皆様のご意見を取り入れられるよう最大限努めてまいります。(太田)